

緑地の“新・東京スタンダード”を考える

～緑といきもの豊かなまちづくりに向けて～

三井住友海上は、1984年竣工の駿河台ビル改修に合わせ、屋上庭園についても樹種の植替えやバードバスの設置等、生物多様性に配慮したリニューアルを行い、公開空地として昨秋再オープンいたしました。また、東京都心では生物多様性に配慮した緑地が相次いでつくられています。このような緑地のオープンを受け、このたび緑のシンポジウム「緑地の“新・東京スタンダード”を考える」を開催いたします。

シンポジウムでは、企業緑地の最新事例を紹介しながら、これから東京の緑地に求められる新しい「基準」や、都市における生物多様性の取り組み方について考えます。また皇居という自然の宝庫を中心に抱えた東京が、日本または世界において、都市と生物多様性の取組みの先進モデルとなるため、ハードとソフトの両面で何が求められているのか、を参加者の皆様と考えていきます。

2014年5月20日(火)

三井住友海上駿河台ビル 1階大ホール

東京都千代田区神田駿河台3-9

【プログラム】

1. ごあいさつ：三井住友海上火災保険株式会社 総務部長 西川浩
2. キーノートスピーチ：東京農工大学 名誉教授 亀山章
いきものにも優しい緑をもっとつくろう～皇居の外周をつなぐ東京セントラルパーク構想～
3. 企業の取組事例紹介
 - (1)「丸の内エリアの緑化取組み」三菱地所株式会社 環境・CSR推進部 副長 竹内和也
 - (2)「仙石山森タワー・虎ノ門ヒルズ」森ビル株式会社 環境推進室
 - (3)「駿河台緑地と ECOM 駿河台」三井住友海上火災保険株式会社
総務部地球環境・社会貢献室 室長 山ノ川実夏
4. パネルディスカッション「緑といきもの豊かな東京を楽しもう」
 - コーディネーター：株式会社インターリスク総研 マネージャー・上席コンサルタント 原口真
 - コメンテーター：東京農工大学 名誉教授 亀山章
 - パネラー：東京都環境局自然環境部緑施策推進担当課長 内藤義和
大日本印刷株式会社 環境安全部長 戸田清志
三井住友海上火災保険株式会社 総務部 地球環境・社会貢献室 課長代理 浦嶋裕子
公益財団法人 日本自然保護協会 国際担当主任
道家哲平（国際自然保護連合日本委員会事務局担当）

- 参加費：無料
- 定員：200名（先着順）
- 主催：三井住友海上火災保険株式会社
- 共催：公益財団法人 都市緑化機構
- 後援：国土交通省／東京都環境局／千代田区／一般社団法人 いきもの共生事業推進協議会／
公益財団法人 日本自然保護協会／国際自然保護連合日本委員会／公益財団法人 WWF ジャパン／
公益財団法人 日本野鳥の会／一般社団法人 CEPA JAPAN／
特定非営利活動法人 樹木・環境ネットワーク協会
- 問合せ：三井住友海上火災保険株式会社 総務部 地球環境・社会貢献室（倉持・浦嶋）
[TEL:03-3259-1329](tel:03-3259-1329) / [✉ kankyokoken@ms-ins.net](mailto:kankyokoken@ms-ins.net)